

2022年9月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 GMOペイメントゲートウェイ株式会社

コード番号 3769

URL <https://www.gmo-pg.com/corp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 相浦 一成

問合せ先責任者（役職名） 取締役副社長（氏名） 村松 竜（TEL）03-3464-0182

四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2022年9月期第1四半期の連結業績（2021年10月1日～2021年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第1四半期	11,857	21.4	4,116	31.8	4,299	41.5	2,582	47.6	2,517	47.6	2,652	76.4
2021年9月期第1四半期	9,767	28.5	3,122	48.3	3,038	10.1	1,749	△0.3	1,704	△1.4	1,504	△24.4

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年9月期第1四半期	33.19	32.90
2021年9月期第1四半期	23.16	22.52

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年9月期第1四半期	243,997	55,920	53,970	22.1
2021年9月期	215,455	57,820	55,845	25.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年9月期	0.00	0.00	0.00	59.00	59.00
2022年9月期	0.00				
2022年9月期(予想)		0.00	0.00	66.00	66.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年9月期の連結業績予想（2021年10月1日～2022年9月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,438	17.9	8,117	23.1	7,738	16.6	4,880	14.7	4,795	15.0	63.23
通期	50,000	20.0	16,234	25.0	15,538	17.0	10,048	11.9	9,860	11.8	130.01

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年9月期1Q	76,557,545株	2021年9月期	76,557,545株
② 期末自己株式数	2022年9月期1Q	714,996株	2021年9月期	714,996株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年9月期1Q	75,842,549株	2021年9月期1Q	73,613,809株

(注) 期末自己株式数には、役員報酬BIP信託及び株式給付信託(J-ESOP)の所有する当社株式が含まれております(2021年9月期 709,705株、2022年9月期1Q 709,705株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】7ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。
2. 当社は、2022年2月10日にアナリスト・機関投資家向け決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	10
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	12
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 継続企業の前提に関する注記	15
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	15
① 現金及び現金同等物	15
② 営業債権及びその他の債権	15
③ 関係会社預け金	15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

## ① 連結経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2021年10月1日～2021年12月31日）の業績は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	増減率 (%)
売上収益	9,767,132	11,857,766	21.4
営業利益	3,122,699	4,116,377	31.8
税引前四半期利益	3,038,656	4,299,022	41.5
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	1,704,968	2,517,248	47.6

## a. 売上収益

売上収益は11,857,766千円（前年同期比21.4%増）となりました。オンライン課金分野・継続課金分野におけるEC市場の順調な成長に加え、対面分野においても当社グループのサービス提供を拡大したことにより、決済代行業業が増収となりました。金融関連事業は、後払い型の決済サービス「GM0後払い」の取扱高が引き続き伸長したことに加え、早期入金サービス及び海外FinTech事業者に向けたレンディングサービスの拡大により増収となりました。決済代行業業の売上収益は8,866,543千円（前年同期比24.5%増）、金融関連事業の売上収益は2,772,849千円（前年同期比11.7%増）、決済活性化事業の売上収益は225,809千円（前年同期比37.8%増）となりました。詳細については、「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明 ②セグメントの業績状況」に記載しております。

品目別売上収益は、以下のとおりです。

(単位：千円)

品目別	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	増減率 (%)
イニシャル (イニシャル売上)	876,426	1,484,676	69.4
ストック (固定費売上)	1,522,927	1,851,185	21.6
フィー (処理料売上)	2,559,395	3,149,958	23.1
スプレッド (加盟店売上)	4,808,382	5,371,946	11.7
合計	9,767,132	11,857,766	21.4

## b. 営業利益

営業利益は4,116,377千円（前年同期比31.8%増）となり、当連結会計年度の業績予想に対して順調に進捗しております。

決済代行事業のセグメント利益（営業利益）は4,260,112千円（前年同期比24.9%増）となり、金融関連事業のセグメント利益（営業利益）は630,956千円（前年同期比28.9%増）、決済活性化事業のセグメント利益（営業利益）は51,297千円（前年同期比156.3%増）となりました。詳細については、「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明 ②セグメントの業績状況」に記載しております。

## c. 税引前四半期利益

税引前四半期利益は4,299,022千円（前年同期比41.5%増）となり、当第1四半期連結累計期間の営業利益が前年同期比31.8%増だったのに対し、税引前四半期利益は前年同期比41.5%増となりました。これは主に投資事業組合運用益152,894千円により金融収益が215,922千円計上されたことによるものです。

## ② セグメントの業績状況

セグメントの業績は、以下のとおりです。

（単位：千円）

セグメント別	前第1四半期連結累計期間 （自 2020年10月1日 至 2020年12月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2021年10月1日 至 2021年12月31日）	増減率（%）
決済代行事業			
売上収益	7,122,180	8,866,543	24.5
セグメント損益（△は損失）	3,411,105	4,260,112	24.9
金融関連事業			
売上収益	2,483,398	2,772,849	11.7
セグメント損益（△は損失）	489,533	630,956	28.9
決済活性化事業			
売上収益	163,822	225,809	37.8
セグメント損益（△は損失）	20,014	51,297	156.3
調整額			
売上収益	△2,268	△7,436	—
セグメント損益（△は損失）	△797,953	△825,988	—
合計			
売上収益	9,767,132	11,857,766	21.4
セグメント損益（△は損失）	3,122,699	4,116,377	31.8

a. 決済代行業業

決済代行業業については、主にオンライン課金分野・継続課金分野と対面分野における決済代行サービス、金融機関・金融サービス事業者等に向けた支援サービスの拡大に取り組んでおります。オンライン課金分野・継続課金分野においては、EC市場の順調な成長のもと、大手から中小規模まであらゆる業態の加盟店開拓やEC以外の幅広い事業者における当社グループのサービス利用の拡大に注力いたしました。

当第1四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大の影響は、前連結会計年度に引き続き限定的にとどまりました。オンライン課金分野・継続課金分野において、EC市場及びキャッシュレス決済の拡大により少額決済が増加、また巣籠消費の定着に伴う日用品、デジタルコンテンツや公金・公共料金等の決済も増加いたしました。

対面分野においては、感染拡大に伴う実店舗での影響を加盟店の業態によって受けやすい環境にあるものの、当第1四半期連結累計期間においては、断続的に発令されていた緊急事態宣言及びまん延防止処置が解除され、消費減少の影響を受けていた飲食やレジャー関連の加盟店では決済処理件数・金額が増加しました。この状況に加え、現金を媒体としない安心な支払い手段として対面キャッシュレス決済市場の拡大が進んだことに伴い端末販売が好調に推移し、さらに、前連結会計年度に引き続き、次世代決済プラットフォーム「stera」端末の販売台数も増加したことが、イニシャル売上と当セグメントの決済処理件数・金額の拡大に繋がりました。また、注力市場である自動精算機や券売機等の無人決済市場（Unattended Market）での案件の受注も順調に推移しております。

以上の結果、（金融関連事業の「GM0後払い」を含む）当セグメントの決済処理件数は前年同期比33.3%増、決済処理金額は前年同期比33.8%増となり、売上収益は8,866,543千円（前年同期比24.5%増）、セグメント利益（営業利益）は4,260,112千円（前年同期比24.9%増）となりました。

b. 金融関連事業

金融関連事業（マネーサービスビジネス：MSB）については、加盟店のニーズに応える入金サイクルを設定し、キャッシュ・フロー改善に資する早期入金サービスや、決済データ等を活用して成長資金を提供する加盟店向け融資サービスであるトランザクションレンディング、海外FinTech事業者に向けたレンディングサービス、送金サービス、給与即時受け取りサービスの「即給 byGM0」のほか、連結子会社であるGM0ペイメントサービス株式会社を通じて「GM0後払い」を提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、早期入金サービスが決済代行業業の拡大に伴い好調に推移し、海外FinTech事業者に向けたレンディングサービスにおいても、今後安定的な収益が見込める新たな融資先の開拓が進捗する等、売上収益とセグメント利益の増加に貢献しました。決済サービスである「GM0後払い」は、前年同期における巣籠消費需要の反動を受け、また送金サービスにおいても前年同期の新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大によるチケット等の返金需要の反動から売上収益の成長率は低下したものの取扱高は伸長しております。

以上の結果、売上収益は2,772,849千円（前年同期比11.7%増）となり、セグメント利益（営業利益）は630,956千円（前年同期比28.9%増）となりました。

c. 決済活性化事業

決済活性化事業については、商品の売れ行きを確認しながら広告運用や分析を行い当社グループ加盟店の売上向上に繋げるマーケティング支援サービスや、医療受付現場の業務効率化に繋がる医療特化型予約管理システム「メディカル革命 byGM0」等を提供する連結子会社のGM0医療予約技術研究所株式会社のサービスを提供しております。

GM0医療予約技術研究所株式会社は、予約・問診票記入・受付・決済といった行為をスマホアプリから行えるほか、導入している複数の医療機関の診察券をスマートフォン1つに集約することができるサービスを提供しており、第1四半期連結累計期間において、前連結会計年度に引き続き新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大による需要の高まり等から売上収益が前年同期比92.5%となりました。また、マーケティング支援サービス及びSSLクーポンも伸長し、当セグメントの成長に貢献いたしました。

以上の結果、売上収益は225,809千円(前年同期比37.8%増)となり、セグメント利益(営業利益)は51,297千円(前年同期比156.3%増)となりました。

各セグメントにおいて提供する主なサービス及び会社は、以下のとおりです。

セグメント	提供する主なサービス	主な会社
決済代行事業	決済代行サービス (オンライン課金・継続課金)	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社 GM0イプシロン株式会社(連結子会社)
	決済代行サービス (対面)	GM0フィナンシャルゲート株式会社(連結子会社)
金融関連事業	GM0後払い	GM0ペイメントサービス株式会社(連結子会社)
	送金サービス	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社 GM0イプシロン株式会社(連結子会社)
	トランザクションレンディング	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社 GM0イプシロン株式会社(連結子会社)
	海外レンディング	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社
	早期入金サービス	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社 GM0イプシロン株式会社(連結子会社)
決済活性化事業	マーケティング支援サービス	GM0ペイメントゲートウェイ株式会社
	メディカル革命 byGM0	GM0医療予約技術研究所株式会社(連結子会社)

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び資本の概況

## a. 資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ28,541,983千円増加し、243,997,876千円となりました。これは主に前渡金5,305,449千円、未収入金7,184,011千円、関係会社預け金16,500,000千円増加したことによるものです。

「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 ① 現金及び現金同等物」に記載したとおり、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物には関係会社預け金が4,800,000千円含まれており、要約四半期連結財政状態計算書上の関係会社預け金18,500,000千円と合わせると、関係会社預け金の残高は23,300,000千円となっております。これはGM0インターネットグループがグループ全体で資金運用を行うために導入しているキャッシュマネジメントシステム(以下、「CMS」という。)を利用し、手元資金を預け入れたものです。そのため、当社グループにおいて事業の進捗に伴って資金需要が増大した際には、CMSの返済期日が到来していなくても、所定の日数より前に申請することで、随時資金を引き出すことが可能です。

## b. 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ30,441,425千円増加し、188,076,938千円となりました。これは主に未払金7,035,056千円、預り金21,806,213千円、借入金3,366,845千円増加したことによるものです。

## c. 資本

当第1四半期連結会計期間末における資本の残高は、前連結会計年度末に比べ1,899,442千円減少し、55,920,937千円となりました。これは主に四半期利益2,582,500千円の計上により増加した一方、剰余金の配当4,474,710千円により減少したことによるものです。

## ② キャッシュ・フローの概況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、期首残高に比べ2,064,628千円減少し、102,459,336千円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは以下のとおりです。

## a. 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は15,996,239千円(前年同期は3,026,591千円の獲得)となりました。これは主に前渡金の増加5,305,449千円、未収入金の増加7,848,449千円、その他の流動負債の減少1,020,045千円、法人所得税の支払額2,812,545千円により資金が減少した一方、税引前四半期利益4,299,022千円、未払金の増加7,050,179千円、預り金の増加21,713,802千円により資金が増加したものです。

## b. 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は16,840,900千円(前年同期は3,789,610千円の獲得)となりました。これは主に関係会社預け金の預入による支出16,500,000千円により資金が減少したものです。

## c. 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は1,338,739千円(前年同期は3,184,435千円の使用)となりました。これは主に短期借入金の純増加額3,500,000千円により資金が増加した一方、配当金の支払額4,449,301千円により資金が減少したものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの事業が主として立脚する電子商取引（EC）市場は、スマートフォンの利便性の高まりや物流の改革等外部環境の変化による物販の消費者向け（BtoC）ECの利用拡大を受け高成長を継続しております。また、物販以外のサービス領域や、公共料金・税金等の公金、医療等の生活に密着した分野等における決済のオンライン化も着実に進行しており、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に伴う新たな生活様式に関わるオンライン消費の浸透も見られております。加えて、企業間取引（BtoB）のEC化や個人間取引（CtoC）のEC化等、ECの領域自体も拡大しております。また、連結子会社であるGM0フィナンシャルゲート株式会社が立脚する対面市場においては、クレジットカード及びそれ以外の手段も含めた決済のキャッシュレス化加速の機運も高まっており、新たなビジネスチャンスが生まれると共に、当社グループの事業領域もますます拡大する見込みとなっております。

2022年9月期の事業環境については、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が再拡大している状況においても、経済社会活動を継続していく動きがみられております。当社グループの事業自体は様々な業種の加盟店にサービスを提供しておりマクロ経済の影響を受けにくい特徴があることに加え、決済のオンライン化、キャッシュレス化の流れが後押しされる状況にもあることから、当社グループの売上収益に対する影響は現時点では軽微と判断しております。加えて、大手及び成長性のある加盟店や金融機関等の開拓、大型案件の獲得のほか、DXプラットフォームや次世代決済プラットフォーム「stera」等重点施策の収益拡大により、全てのセグメントにおいて売上収益の拡大を見込んでおります。

2022年9月期の通期連結業績予想については、売上収益50,000百万円（前年同期比20.0%増）、営業利益16,234百万円（前年同期比25.0%増）、税引前利益15,538百万円（前年同期比17.0%増）、当期利益10,048百万円（前年同期比11.9%増）、親会社の所有者に帰属する当期利益9,860百万円（前年同期比11.8%増）を見込んでおります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	注記	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物	①	104,523,965	102,459,336
営業債権及びその他の債権	②	10,308,474	10,466,150
前渡金		45,321,043	50,626,493
未収入金		24,893,665	32,077,676
棚卸資産		1,664,548	2,183,284
関係会社預け金	③	2,000,000	18,500,000
その他の金融資産		455,403	496,409
その他の流動資産		335,983	499,724
流動資産合計		189,503,084	217,309,076
非流動資産			
有形固定資産		3,948,522	3,849,334
のれん及び無形資産		5,521,782	5,786,044
持分法で会計処理されている投資		4,593,784	4,655,275
営業債権及びその他の債権	②	4,231,100	4,610,915
その他の金融資産		6,005,805	6,135,470
繰延税金資産		1,529,043	1,562,687
その他の非流動資産		122,769	89,072
非流動資産合計		25,952,808	26,688,799
資産合計		215,455,892	243,997,876

(単位：千円)

	注記	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債及び資本			
負債			
流動負債			
買掛金		5,230,945	5,881,894
未払金		20,537,297	27,572,353
預り金		84,593,904	106,400,118
借入金		15,138,420	18,507,020
その他の金融負債		621,363	617,555
未払法人所得税等		2,602,652	1,395,762
引当金		327,157	326,736
その他の流動負債		3,662,794	2,611,005
流動負債合計		132,714,534	163,312,446
非流動負債			
社債		19,593,627	19,614,821
借入金		20,095	18,340
その他の金融負債		2,889,479	2,737,086
引当金		130,180	130,264
繰延税金負債		78,148	73,429
その他の非流動負債		2,209,447	2,190,550
非流動負債合計		24,920,978	24,764,492
負債合計		157,635,512	188,076,938
資本			
資本金		13,323,135	13,323,135
資本剰余金		15,191,927	15,204,220
利益剰余金		26,546,151	24,588,690
自己株式		△1,152,444	△1,153,163
その他の資本の構成要素		1,937,175	2,008,101
親会社の所有者に帰属する持分合計		55,845,946	53,970,984
非支配持分		1,974,433	1,949,952
資本合計		57,820,379	55,920,937
負債及び資本合計		215,455,892	243,997,876

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

(単位：千円)

注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
売上収益	9,767,132	11,857,766
(うち、金利収益※)	2,090,461	2,296,880
売上原価	△2,817,258	△3,684,580
売上総利益	6,949,873	8,173,185
その他の収益	49,757	60,102
販売費及び一般管理費	△3,872,313	△4,108,462
その他の費用	△4,618	△8,448
営業利益	3,122,699	4,116,377
金融収益	7,812	215,922
金融費用	△69,946	△55,762
持分法による投資損益 (△は損失)	△21,909	22,484
税引前四半期利益	3,038,656	4,299,022
法人所得税費用	△1,289,469	△1,716,521
四半期利益	1,749,186	2,582,500
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,704,968	2,517,248
非支配持分	44,217	65,252
四半期利益	1,749,186	2,582,500
1株当たり四半期利益 (円)		
基本的1株当たり四半期利益	23.16	33.19
希薄化後1株当たり四半期利益	22.52	32.90

(※) IFRS第9号「金融商品」に基づいて、実効金利法により測定した金利収益を表示しております。

要約四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
四半期利益	1,749,186	2,582,500
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	△463,097	△142,642
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	316,844	44,872
純損益に振り替えられることのない 項目合計	△146,252	△97,769
純損益に振り替えられることのある項目		
在外営業活動体の換算差額	△67,340	194,052
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	△31,264	△25,839
純損益に振り替えられることのある 項目合計	△98,604	168,213
税引後その他の包括利益	△244,857	70,443
四半期包括利益	1,504,328	2,652,944
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,461,871	2,588,192
非支配持分	42,457	64,752
合計	1,504,328	2,652,944

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

注記	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
2020年10月1日時点の残高	4,712,900	5,675,561	20,725,465	△1,149,341	1,769,560	31,734,145	1,719,369	33,453,515
四半期利益	—	—	1,704,968	—	—	1,704,968	44,217	1,749,186
その他の包括利益	—	—	—	—	△243,097	△243,097	△1,759	△244,857
四半期包括利益	—	—	1,704,968	—	△243,097	1,461,871	42,457	1,504,328
自己株式の取得	—	—	—	△1,345	—	△1,345	—	△1,345
配当金	—	—	△3,826,483	—	—	△3,826,483	—	△3,826,483
非支配株主への配当金	—	—	—	—	—	—	△63,671	△63,671
転換社債型新株予約権付社債 の転換	274,290	268,699	—	—	—	542,989	—	542,989
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	330,624	—	△330,624	—	—	—
株式報酬取引	—	26,971	—	—	△28	26,943	—	26,943
支配継続子会社に対する 持分変動	—	△10,313	—	—	—	△10,313	22,448	12,135
関連会社の支配継続子会社に 対する持分変動	—	35,329	—	—	—	35,329	—	35,329
所有者との取引額合計	274,290	320,686	△3,495,859	△1,345	△330,652	△3,232,880	△41,222	△3,274,103
2020年12月31日時点の残高	4,987,190	5,996,247	18,934,575	△1,150,687	1,195,810	29,963,136	1,720,604	31,683,740

当第1四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

注記	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
2021年10月1日時点の残高	13,323,135	15,191,927	26,546,151	△1,152,444	1,937,175	55,845,946	1,974,433	57,820,379
四半期利益	—	—	2,517,248	—	—	2,517,248	65,252	2,582,500
その他の包括利益	—	—	—	—	70,943	70,943	△499	70,443
四半期包括利益	—	—	2,517,248	—	70,943	2,588,192	64,752	2,652,944
自己株式の取得	—	—	—	△718	—	△718	—	△718
配当金	—	—	△4,474,710	—	—	△4,474,710	—	△4,474,710
非支配株主への配当金	—	—	—	—	—	—	△89,232	△89,232
株式報酬取引	—	22,293	—	—	△17	22,276	—	22,276
支配継続子会社に対する 持分変動	—	△10,001	—	—	—	△10,001	—	△10,001
所有者との取引額合計	—	12,292	△4,474,710	△718	△17	△4,463,153	△89,232	△4,552,386
2021年12月31日時点の残高	13,323,135	15,204,220	24,588,690	△1,153,163	2,008,101	53,970,984	1,949,952	55,920,937

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	3,038,656	4,299,022
減価償却費及び償却費	445,134	494,477
金融収益及び金融費用(△は益)	62,134	△160,160
持分法による投資損益(△は益)	21,909	△22,484
棚卸資産の増減額(△は増加)	△362,341	△518,736
営業債権及びその他の債権の増減 (△は増加)	382,960	△491,156
前渡金の増減(△は増加)	△13,332,440	△5,305,449
未収入金の増減(△は増加)	△5,264,412	△7,848,449
買掛金の増減(△は減少)	1,069,054	650,632
未払金の増減(△は減少)	5,009,381	7,050,179
預り金の増減(△は減少)	15,494,512	21,713,802
その他の流動負債の増減(△は減少)	△783,490	△1,020,045
その他	△32,146	△31,176
小計	5,748,912	18,810,455
利息及び配当金の受取額	7,812	19,662
利息の支払額	△33,678	△21,333
法人所得税の支払額	△2,696,454	△2,812,545
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,026,591	15,996,239
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△46,012	△111,471
無形資産の取得による支出	△340,758	△629,233
投資有価証券の取得による支出	△731	△168,096
投資有価証券の売却による収入	489,922	668,520
投資事業組合からの分配による収入	29,960	20,775
関係会社預け金の預入による支出	△2,000,000	△16,500,000
関係会社預け金の払戻による収入	5,000,000	—
その他の金融資産の取得による支出	△67	△201
その他の金融資産の売却による収入	700,164	6,770
その他	△42,866	△127,963
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,789,610	△16,840,900

(単位：千円)

	注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(△は減少)		1,000,000	3,500,000
長期借入金の返済による支出		△200,100	△133,155
配当金の支払額		△3,797,895	△4,449,301
非支配株主への配当金の支払額		△63,671	△89,232
非支配持分からの払込による収入		26,478	—
その他		△149,247	△167,050
財務活動によるキャッシュ・フロー		△3,184,435	△1,338,739
現金及び現金同等物に係る換算差額		△32,109	118,772
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		3,599,656	△2,064,628
現金及び現金同等物の期首残高	①	95,830,807	104,523,965
現金及び現金同等物の四半期末残高	①	99,430,463	102,459,336

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

① 現金及び現金同等物

現金及び現金同等物の内訳は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
現金及び預金	81,593,965	97,659,336
関係会社預け金	22,930,000	4,800,000
合計	104,523,965	102,459,336

② 営業債権及びその他の債権

営業債権及びその他の債権の内訳は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
売掛金	5,740,246	6,616,807
営業貸付金	8,846,384	8,495,014
その他	92,408	103,131
貸倒引当金	△139,464	△137,887
合計	14,539,574	15,077,065
流動資産	10,308,474	10,466,150
非流動資産	4,231,100	4,610,915
合計	14,539,574	15,077,065

③ 関係会社預け金

関係会社預け金はGMOインターネットグループのCMSによる預け金です。